



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

～次世代の医療のために～

研究成果報告書



皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（血液・髄液等）と臨床情報を利用した研究で以下のような成果が見られましたのでご報告させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の脳脊髄液を用いたバイオマーカー探索

【研究責任者】

里見 佳典（Axcelead Drug Discovery Partners株式会社）

【本研究の成果】

ALS患者様および健常人様の脳脊髄液中の蛋白質の比較解析を実施した。ALS患者様の脳脊髄液で優位に変動する蛋白質として神経発生・軸索誘導・細胞接着に関わる分子を複数同定した。今回発見した神経発生・軸索誘導・細胞接着に関わる分子は、今後、創薬開発に利用できるバイオマーカーになる可能性がある。

【本研究に提供している試料・情報】

髄液

性別、年齢、診断名、既往歴、服薬情報

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2026年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

なし

（問い合わせ窓口）

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオバンク部

電話番号 042-346-3520

E-mail: biobank※ncnp.go.jp（※を@に変更してください）